

# 山梨県空き家除却事業費補助金交付要綱

## (趣旨)

第1条 知事は、地域の居住環境の向上又は地域活性化等を図るため、市町村が実施する空家等の除却事業に要する経費に対し、予算の範囲内で補助金を交付するものとし、その交付に関しては、山梨県補助金等交付規則（昭和38年山梨県規則第25号）に規定するもののほか、この要綱に定めるところによる。

## (定義)

第2条 この要綱において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところとする。

- 一 空家等 空家等対策の推進に関する特別措置法（平成26年法律第127号。以下「法」という。）第2条第1項に規定する空家等をいう。
- 二 特定空家等 法第2条第2項に規定する特定空家等をいう。
- 三 空家等対策計画 法第7条第1項に規定する空家等対策計画をいう。
- 四 国事業 小規模住宅地区等改良事業制度要綱（平成9年建設省住整発第46号）に基づく空き家再生等推進事業及び住宅市街地総合整備事業制度要綱（平成16年国住市第350号）に基づく空き家対策総合支援事業をいう。
- 五 空き家除却事業 空家等を除却するための事業又は空家等の除却を行う者に対して補助する事業をいう。

## (補助金の交付対象事業)

第3条 知事は、市町村が空家等対策計画に基づき行う空き家除却事業であって、国事業の対象事業であるもの（以下「補助事業」という。）に対して、予算の範囲内において補助金を交付するものとする。

## (補助金の対象経費及び補助金の額)

第4条 補助金の対象経費（以下「補助対象経費」という。）は、別表（イ）欄に掲げる区分に応じて、（ロ）欄に掲げる経費とする。

- 2 補助金の額は、別表（イ）欄に掲げる区分に応じて、（ハ）欄に掲げる範囲内とする。ただし、当該額に千円未満の端数があるときは、これを切り捨てるものとする。

## (補助金の交付の申請)

第5条 補助金の交付を受けようとする市町村長は、山梨県空き家除却事業費補助金交付申請書（様式第1号）に次の各号に掲げる書類を添えて、補助事業に着手する前に知事

に提出しなければならない。

- 一 事業計画書（様式第1号の2）
- 二 予算決議書の写し
- 三 実施計画書（様式第1号の3）
- 四 その他知事が必要と認める書類

#### （補助金の交付の決定）

第6条 知事は、前条の規定により補助金の交付の申請があったときは、その内容を審査し、補助金を交付すべきものと認めたときは、補助金の交付の決定を行い、山梨県空き家除却事業費補助金交付決定通知書（様式第2号）により補助金の交付の申請をした市町村長に通知するものとする。

#### （補助金の交付の条件）

第7条 知事は、補助金の交付を決定するときは、次の各号に掲げる条件を付するものとする。

- 一 補助事業に要する経費の配分又は補助事業の内容の変更（補助事業の目的の達成に支障をきたさない事業計画の細部の変更であって、交付を決定した補助金の額（複数の補助事業を施行する場合にあっては、補助事業ごとの補助金の額）に増加を伴わない場合を除く。）をする場合は、あらかじめ知事の承認を受けること。
- 二 補助事業を中止し、又は廃止する場合は、あらかじめ知事の承認を受けること。
- 三 補助事業が予定の期間内に完了する見込みのない場合又は補助事業の遂行が困難となった場合においては、速やかに知事に報告してその指示を受けること。

#### （事業内容等の変更）

第8条 前条第一号の規定による承認を受けようとする市町村長は、山梨県空き家除却事業費補助金事業変更承認申請書（様式第3号）に第5条各号に掲げる書類（変更に係る部分に限る。）を添えて、知事に提出しなければならない。

- 2 知事は、前項の規定により補助金の交付の変更の申請があったときは、その内容を審査し、補助金の交付を変更すべきものと認めたときは、補助金の交付の決定の変更を行い、山梨県空き家除却事業費補助金交付決定変更通知書（様式第4号）により補助金の交付の変更を申請した市町村長に通知するものとする。
- 3 前条第二号の規定による承認を受けようとする市町村長は、山梨県空き家除却事業費補助金補助事業中止（廃止）承認申請書（様式第5号）を知事に提出しなければならない。
- 4 知事は、前項の規定により補助事業の中止又は廃止の申請があったときは、その内容を審査し、支障がないと認めたときは、補助事業の中止又は廃止を承認し、山梨県空き家

除却事業費補助金補助事業中止（廃止）承認通知書（様式第6号）により補助事業の中止又は廃止を申請した市町村長に通知するものとする。

- 5 前条第三号の規定による報告を行う市町村長は、山梨県空き家除却事業費補助金補助事業未完了報告書（様式第7号）を知事に提出しなければならない。

（状況報告）

第9条 知事は、補助事業を行う市町村長に対し、必要に応じ、補助事業の遂行状況を報告させることができる。

（実績報告）

第10条 補助事業を行う市町村長は、補助事業が完了したとき、又は第7条第二号の規定による補助事業の廃止の承認を受けたときは、補助事業の成果を記載した山梨県空き家除却事業費補助金実績報告書（様式第8号）に次の各号に掲げる書類を添えて、補助事業の完了の日若しくは廃止の承認を受けた日から起算して1箇月を経過した日又は補助金の交付を決定した年度の翌年度の4月10日のいずれか早い期日までに知事に報告しなければならない。

- 一 事業報告書（様式第8号の2）
- 二 補助事業に要した経費の支出の事実等が確認できる書類
- 三 その他知事が必要と認める書類

（額の確定）

第11条 知事は、前条の規定により補助事業の実績の報告を受けた場合においては、報告書等の書類の審査及び必要に応じて行う現地調査により、その報告に係る補助事業の成果が補助金の交付の決定の内容及びこれに付した条件に適合するものであるかどうかを調査し、適合すると認めるときは、交付すべき補助金の額を確定し、額の確定通知書（様式第9号）により補助事業の実績を報告した市町村長に通知するものとする。

（補助金の交付の時期）

第12条 この補助金は、前条の規定による補助金の額の確定後において交付するものとする。

（補助金の返還）

第13条 法第22条第9項及び第10項の規定に基づく特定空家等の除却を行う事業（以下「代執行事業」という。）において補助金の交付を受けた市町村長は、補助事業の完了後に、所有者等より当該代執行事業に要した経費の全部又は一部の納付を受けた場合には、知事と協議の上、その納付を受けた経費に係る補助金に相当する額を知事に返

還するものとする。

(書類の保管)

第14条 補助事業に係る帳簿及び証拠書類は、当該補助事業終了の年度の翌年度から起算して5年間、整備保管しておかなければならない。

(その他)

第15条 この要綱に定めるもののほか、補助金の交付に関し必要な事項は、知事が別に定めるものとする。

附 則

- 1 この要綱は、令和元年7月1日から施行する。
- 2 この要綱は、令和13年3月31日限り、その効力を失う。ただし、この要綱に基づき交付決定された補助金については、この要綱の失効後も、なおその効力を有する。

附 則

この要綱は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和4年3月31日から施行する。

附 則

この要綱は、令和5年12月13日から施行する。

附 則

この要綱は、令和8年3月31日から施行する。

## 別表

(イ) 事業の区分	(ロ) 補助対象経費	(ハ) 補助金の額
市町村が施行者となり空家等を除却する場合	空家等の除却に要する費用並びに廃材等の撤去及び処分に要する費用の合計（以下この項において「除却工事等費」という。）	補助対象経費の4分の1以内（ただし、木造建築物については、1件あたり1,000千円を上限とし、非木造建築物については1件あたり4,000千円を上限とする。）
市町村が空家等の除却を行う者に対して補助する場合	除却工事等費に10分の8を乗じて得た額と市町村が補助する費用のうちいずれか少ない額	補助対象経費の4分の1以内（ただし、1件あたり850千円を上限とする。）